

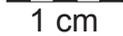
白亜紀アンモナイト タナベセラスの研究発表 大型標本と保存の良い標本



HMG-1600
世界最大のタナベセラス標本



HMG-1601
殻表面が良く保存されている標本



殻が太くなる割合
(矢印が傾いているほど
太くなる割合が大きい)

タナベセラス・エゾエンゼ *Tanabeceras yezoense*

1996年に新種として記載され（当時はガビオセラス属として記載）、2012年の再研究でタナベセラスに改名された種類です。タナベセラスは、アンモナイト研究の世界的権威である棚部一成先生（たなべ かずしげ東京大学名誉教授）にちなんで名付けられました。

発表論文 Shigeta, Y. and Izukura, M., 2013. The earliest Cenomanian ammonoid *Tanabeceras yezoense* (Shigeta) from the Hobetsu area, Hokkaido. *Bulletin of the Hobetsu Museum*, no.28, p.1-6.

今回紹介した標本は常設展示しています。

タナベセラス・エゾエンゼ (*Tanabeceras yezoense*) は北海道とサハリンの白亜紀セノマニアン期最前期（約9,900万年前）の地層から産するアンモナイトです。殻装飾が平滑で、殻外形が太く、へそ（内側の巻きが見える部分）がじょうご・ろうと状で深いことなどが特徴の小型の種類です。これまでに論文などで紹介されているのは7標本で、殻の直径が18mmのものが最大でした。

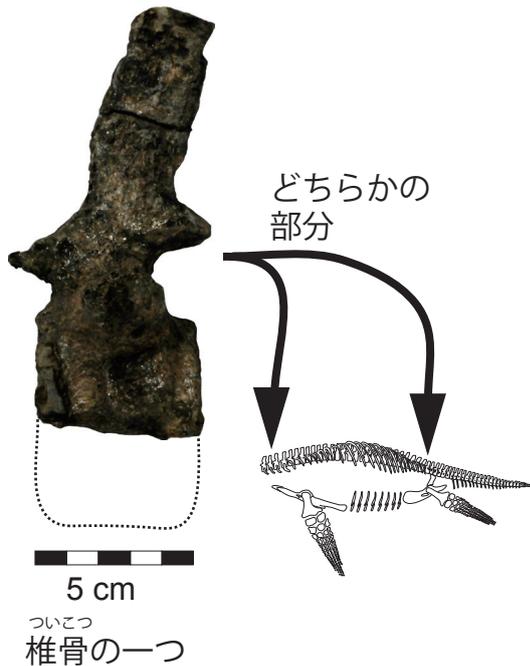
新たに穂別から産したタナベセラスについての研究が重田康成先生（国立科学博物館研究主幹）・伊豆倉正隆氏（札幌市）によって行われ、その成果（英文論文）が穂別博物館研究報告から出版され、同時に標本が伊豆倉氏から穂別博物館に寄贈されました。

新たに産した標本のうち、大型の標本（HMG-1600）はこれまで知られているものとしては世界最大（直径32mm）で、欠けている外側一巻き弱を復元すると、もとは60-65mmほどの大きさであったと考えられます。また、この大型標本は、殻の外形が太くなる割合（写真・図では横に大きくなる割合。論文では実測された計測値・グラフで示されています。）が成長の後期に限って、小さくなるのが観察され、殻外形がうすくなっていくことが、この種の成長後期の特徴であることがわかりました。

新たに産した小型標本（HMG-1601）は、殻の表面が良く保存されていて、条線（ごく細かい線状の凹凸）がへその周辺に見られることなどがわかりました。

（普及員 西村智弘）

クビナガリュウ新規標本の研究発表



発表論文 増田進・佐藤たまき・西村智弘、2013. 北海道平取町貫気別川の上白亜系から産出した首長竜化石. むかわ町立穂別博物館研究報告, 第28号, p. 7-12.

寺下明広氏（札幌市）が採集した平取町産白亜紀クビナガリュウ化石の研究発表を行いました。東京学芸大の佐藤たまき先生（准教授）の元学生の増田進先生（現・巣鴨学園）を中心に研究を進め、論文発表を行いました。発表と同時に寺下氏から標本が穂別博物館に寄贈されました。

白亜紀カンパニアン期前期の後期（約8,000万年前）産であると考えられるこの標本は、体の中軸部の椎骨（首の付け根、もしくは尻尾の前の部分）2点を含む標本で、成体（おとな）の個体であることが分かりました。

化石として残っている部位が少ないこと、ほかの種類の研究もあまり進んでいないので、詳しい種類までは分かりませんでした。これまであまり産出していない種類（首の長いエラスモサウルス類の小型の種類、もしくは首の短いポリコティルス類）であることが分かりました。（普及員 西村智弘）

化石採集会 5/18（土）、5/25（土）、6/1（土）参加者募集

白亜紀中ごろ（約9,000万～8,000万年前）の化石がとれる場所に行きます。探れるかもしれない化石：アンモナイト、二枚貝（イノセラムスなど）、ウミユリ、単体サンゴ、植物化石、サメの歯、クビナガリュウなど。申し込み方法 官製往復はがき 申し込み内容 ①参加希望者全員（参加希望する保護者も含む）の氏名、年齢（学年も）、②参加希望日[3回の中で、希望する回（1回のみ）]、③住所、④電話番号 以上の内容をご記入のうえ穂別博物館まで郵送してください。お手数ですが、返信用はがきに返信用の宛名を予めご記入ください。申し込み期限 各回開催の2週間前必着 時間 9:30～12:00（集合・解散 穂別博物館）（12:00～13:00 希望者は採集した化石のクリーニング）料金 体験料金100円と博物館観覧料 対象 小学生4年生以上（小学生は保護者同伴）服装・持ち物 長袖・長ズボン・帽子・軍手あるいはゴム手袋・靴（博物館見学用）・長靴あるいは濡れてもいい靴（水深20cmぐらいの場所を歩きます。サンダル等は不可）・リュックサック・古新聞（化石梱包用）ハンマー等は博物館で用意します。注意 野外で活動するため、長袖・長ズボンで参加してください。短パンや半そででの参加は認めません。定員 20名（応募多数の場合は抽選）申し込み先 〒054-0211 勇払郡むかわ町穂別 80-6 むかわ町立穂別博物館

中村記念館 開館

国の登録有形文化財
旧中村平八郎家住宅主屋



穂別開拓時の大正10年から13年にかけて建設された建物で、現在は博物館の隣に移築復元されています。

今年度開館日・観覧時間

4/20（土）～8/31（日）

9:30～16:30

休館日は博物館の休館日と同じです。

観覧料100円 高校生以下無料

博物館 休館日

2013年4月

1（月） 8（月） 15（月）

22（月） 30（火）

2013年5月

7（火） 8（水） 9（木）

13（月） 20（月） 27（月）